

令和6年度 第2回宝達志水町文化財保護審議会 議事録

日 時：令和7年2月18日（火） 午後2時00分～午後3時30分
場 所：宝達志水町埋蔵文化財センター 2階 研修室

出席者

委 員：村上会長、末森副会長、山岸委員、秋田委員、大窪委員、
出倉委員、金山委員
事務局：細江教育長、宮本課長、麦居主事

次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 議題
 - (1) 令和6年度文化財保護事業報告について
 - (2) 令和7年度 能登文化財保護連絡協議会総会について
- 5 その他（事務連絡・意見交換など）
- 6 閉会あいさつ（副会長）

議事録

（令和6年度文化財保護事業報告について）

村 上：ゼンショウジキクザクラの樹齢は何年くらいですか。

出 倉：一般的には600年と説明されます。直径は6～7mくらいです。

村 上：屋久島の縄文杉は8000年と謳っていますが、町から発信していくときには「石川県で何番目」「全国で何番目」と説明する方が分かりやすいのではないかと思います。「美しい」と言われても桜は桜です。ゼンショウジキクザクラの特徴を説明するよりも、他と比較して分かりやすく発信した方が注目してもらえらると思います。

山 岸：ゼンショウジキクザクラを培養栽培したものがあることを知っていますか。古墳の湯にもありますが、どれがそれなのか分かりにくいです。分かりやすく表示してある方が良いと思います。

村 上：宝達志水町の町花は桜です。一般的な桜であれば、ゼンショウジキクザクラを由来と言っても問題はなさそうですね。

出 倉：桜の植樹については、今風にいえば地域おこしの発想があったのではないかと思います。子浦川沿い、所司原にも、その時分に植えた桜があります。旧志雄では桜があちこちにあります。私らが一番最初に思い浮かべるのは蓮華山の桜です。

村 上：ゼンショウジキクザクラは宝達志水町のシンボルツリー……というには押しが弱いと思います

出 倉：固定客はいます。県外からも来ています。

山 岸：所司原のカスミザクラも是非保存したら良いと思います。現物は見えていませんが。

出 倉：昨年、町指定にできないか提案しました。千木先生にも見ていただきました。日本全国で見ても数本の内に入るかなとおっしゃっていました

山 岸：是非指定したら良いのではないかな。

村 上：末森城跡の登山道ですが、末森山は崩れやすい山です。どのように復旧したのですか。

事務局：土留めの大型土のうを 100 個程積んで、その間に砂を入れて固めました。

村 上：隙間から崩れる可能性もあるので草を生やした方がよいが、外来植物が生えてくると指摘を受けるので難しいところです。隙間が広がらないように、その都度埋めていくしかないですね。

出 倉：臼ヶ峰往来についてですが、日本海が見える場所が雑木で見通しができません。山頂から深谷までの道をただ歩くだけになっています。景観をよくする対応をしていただけないでしょうか。

村 上：文化財レスキューで救出した資料ですが、どこに持っていきましたか。

事務局：埋蔵文化財センターで保管しています。

村 上：これは大切なことです。新出資料は、新しい町史を作るときには既存の資料と合わせて紹介しなければならないものです。こうした資料は埋蔵文化財センターで保管していただければと思います。

(令和7年度 能登文化財保護連絡協議会総会について)

村 上：文化財レスキューポスター写真展について、宝達志水町でも開催するのですか。

事務局：文化財レスキューポスター写真展につきましては、現在能登町で開催しておりますが、そのパネル等を借用して、さくらドームで展示できればと考えています。それほど負担はないと思います。

村 上：赤戸室の鳥居ですが、この状態では復旧は難しかったのではないですか。

事務局：復旧が難しいということもありますが、倒壊の事実を知った時点で、すでに地区では撤去して新しい鳥居を建てることを決めていたこともあり、やむを得ず記録保存に切り替えたという経緯がございます。詳しくは『能登の文化財 第58輯』で報告しております。ところで、『能登の文化財 第59輯』の原稿についてですが、先生方で執筆いただける方はいませんか・・・令和6年能登半島地震における文化財の被害等については事務局が状況を知っているということで、事務局で執筆するというのでよろしいでしょうか。

委 員：よろしく申し上げます。